

## 2 人口の将来展望

### 将来展望人口

国の長期ビジョン等を踏まえ、下記のとおり仮定値を設定して、本市の「将来展望人口」を推計します。

<仮定値>

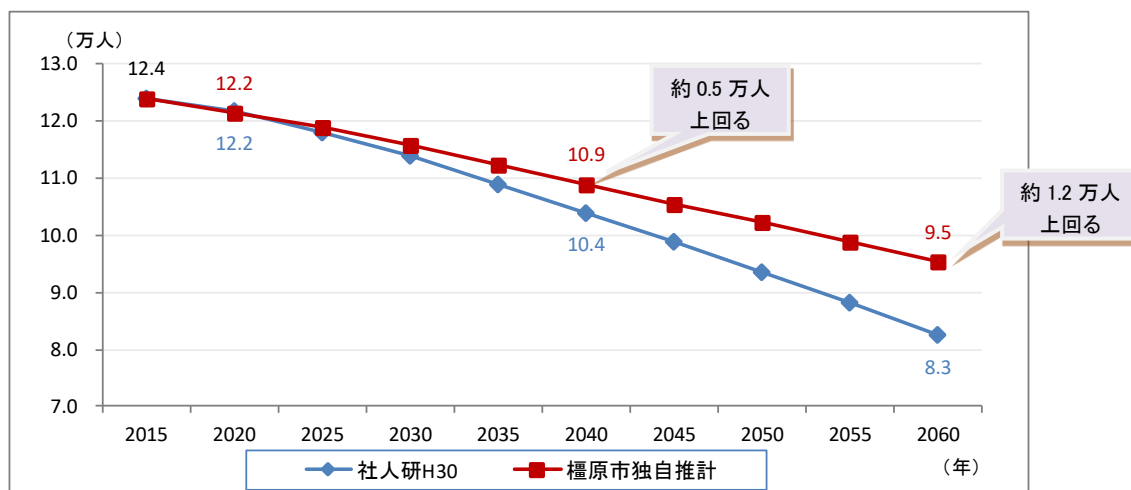
合計特殊出生率 (自然増減)	本市の合計特殊出生率（1.37）を開始値とし、2040年に国民希望出生率（1.83）に、2055年に人口置換水準（2.07）に上昇すると仮定します。（比例配分方式で設定）
移動率 (社会増減)	2020年までは社人研 H30 の設定値（2010年から2015年の移動傾向が2045年まで続く）、2020年から2045年の転出超過は、社人研 H30 の設定値の1/2、転入超過は設定値のまま、2045年以降は2045年と同じ値で推移すると仮定します。

これらの仮定により、将来展望人口は、2040年（令和22年）は109,012人、2060年（令和42年）は95,465人となります

#### 将来展望人口

**中期目標（2040年）：109,012人**

**長期目標（2060年）：95,465人**



### 目指す方向性

人口増加曲線を描くことが理想ですが、短期間で実現することは難しいため、まずは、現状の人口減少の改善に取り組み、目標の達成を目指します。取り組みを継続する中で、目標の達成が見込まれる場合は、新たな曲線を設定し、更なる改善を図ります。